

ロゲ
東京海上Rogge
世界ハイブリッド証券ファンド
(通貨選択型)
マネープール・ファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券 (課税上は株式投資信託として取扱われます。)	
信託期間	2011年11月8日から2031年9月17日	
運用方針	主として「東京海上マネーマザーファンド」受益証券に投資を行い、安定した収益の確保を目指して安定運用を行います。	
主要投資対象	東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型)マネープール・ファンド	主として「東京海上マネーマザーファンド」受益証券に投資を行います。 なお、有価証券等の資産に直接投資することがあります。
	東京海上マネーマザーファンド	円建て短期公社債およびコマーシャル・ペーパーなどを主要投資対象とします。
投資制限	東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型)マネープール・ファンド	<ul style="list-style-type: none"> 株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資は、円貨で約定し円貨で決済するもの(為替リスクの生じないもの)に限ります。
	東京海上マネーマザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> 株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は、円貨で約定し円貨で決済するもの(為替リスクの生じないもの)に限ります。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等から、基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配を行う方針です。ただし、分配対象額が少額の場合等には、収益分配を行わないことがあります。収益の分配に充当せず、信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。	

第29期 運用報告書(全体版)
(決算日 2026年3月17日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型)マネープール・ファンド」は、このたび、第29期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

東京海上アセットマネジメント

東京都千代田区丸の内1-8-2 鉄鋼ビルディング

お問い合わせ窓口
東京海上アセットマネジメント サービスデスク 0120-712-016
受付時間：営業日の9時～17時

<https://www.tokiomarineam.co.jp/>

原則、各表の数量、金額の単位未満は切り捨て、比率は四捨五入で表記していますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
また、一印は組み入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額		参考指数	債組入比率	純資産額	
		税金	騰落率				騰落率
	円	円	%	%	%	百万円	
25期(2024年3月18日)	10,041	0	0.0	100.00	△0.01	119.6	2
26期(2024年9月17日)	10,043	0	0.0	100.05	0.06	65.6	3
27期(2025年3月17日)	10,044	0	0.0	100.20	0.15	66.3	3
28期(2025年9月17日)	10,053	0	0.1	100.44	0.24	66.2	3
29期(2026年3月17日)	10,067	0	0.1	100.74	0.30	87.9	3

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数	債組入比率
	騰落率	騰落率		
(期首) 2025年9月17日	円	%	%	%
9月末	10,053	—	100.44	66.2
10月末	10,054	0.0	100.46	66.2
11月末	10,056	0.0	100.50	77.2
12月末	10,057	0.0	100.54	77.2
2026年1月末	10,059	0.1	100.59	88.1
2月末	10,061	0.1	100.65	88.0
(期末) 2026年3月17日	10,064	0.1	100.70	87.9
	10,067	0.1	100.74	87.9

(注) 騰落率は期首比です。

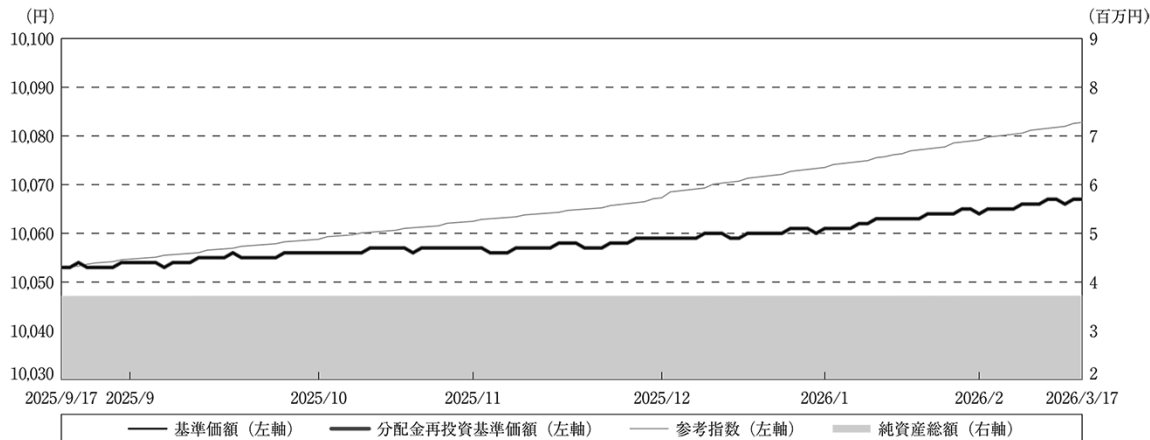
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

参考指数は、無担保コール翌日物金利です。無担保コール翌日物金利は、設定日を100として指数化したものです。

○運用経過

(2025年9月18日～2026年3月17日)

■期中の基準価額等の推移



期首：10,053円

期末：10,067円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：0.1% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首(2025年9月17日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 参考指数は、無担保コール翌日物金利です。

◇基準価額の主な変動要因

プラス要因

- ・安定した利息収入の獲得

マイナス要因

- ・保有する債券の評価損など

■投資環境

当期の短期金融市場は、2025年12月の日銀金融政策決定会合において政策金利が0.50%から0.75%程度へ引き上げられると、おおむね横ばいで推移していた短期金利は上昇に転じました。金融緩和の度合いを知る上で着目する日銀の当座預金残高は、440兆円から505兆円程度で推移しており、短期金融市場の資金余剰感が強い地合いが継続しました。

このような状況下、無担保コール翌日物金利は0.48%程度から0.74%程度の間で推移しました。また、3カ月物の短期国債利回りは、0.42%程度から0.80%程度の間で推移しました。

■ポートフォリオについて

＜東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型)マネーブル・ファンド＞

「東京海上マネーマザーファンド」を主要投資対象とし、高位の組入比率を維持しました。

当ファンドの基準価額は、マザーファンドの値動きを反映し、おおむね横ばいで推移しました。

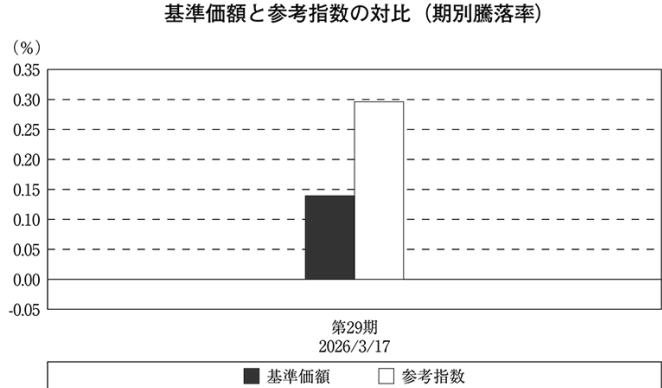
＜東京海上マネーマザーファンド＞

元本の安全性と流動性を重視し、国債などを中心とする円建て短期公社債などに投資してプラスの収益の確保に努めました。その結果、基準価額はおおむね横ばいで推移しました。

■当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けていません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、無担保コール翌日物金利です。

■分配金

当期においては、市況動向や運用の効率性などを勘案して、収益分配を行わないこととしました。収益分配に充てなかった収益については信託財産内に留保し、当ファンドの運用方針に基づいて運用を行います。

◇分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第29期
	2025年9月18日～ 2026年3月17日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	440

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

<東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型)マネーブル・ファンド>

「東京海上マネーマザーファンド」を主要投資対象とし、高位の組入比率を維持します。

<東京海上マネーマザーファンド>

日銀による追加利上げが今後も見込まれるものの、日銀は慎重にデータを精査していく姿勢を示していることから、国内短期金利の上昇は緩やかなものに留まると予想しています。ただし、国内経済・物価の先行きに係る不確実性は高く、将来的な日銀の金融政策運営を巡る動向には留意が必要です。

このような環境下、国債や地方債などを中心とする円建て短期公社債およびコマーシャル・ペーパーを主要投資対象として運用することにより、プラスの収益の確保もしくはマイナス幅を極力最小化するように努める方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2025年9月18日～2026年3月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(4)	(0.035)	*委託した資金の運用、基準価額の計算、目論見書作成等の対価
(販 売 会 社)	(8)	(0.082)	*購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.005)	*運用財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行の対価
合 計	12	0.123	
期中の平均基準価額は、10,058円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

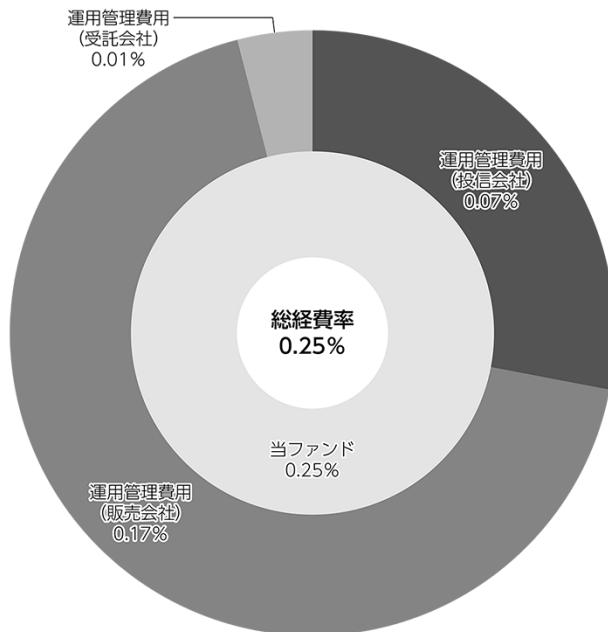
(注) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.25%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年9月18日～2026年3月17日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
東京海上マネーマザーファンド		-	-	4	4

○利害関係人との取引状況等

(2025年9月18日～2026年3月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約の状況

(2025年9月18日～2026年3月17日)

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取 引 の 理 由
百万円	百万円	百万円	百万円	当初設定における取得
1	-	-	1	

○組入資産の明細

(2026年3月17日現在)

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
東京海上マネーマザーファンド		3,663	3,659	3,725

○投資信託財産の構成

(2026年3月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
東京海上マネーマザーファンド	3,725	100.0
投資信託財産総額	3,725	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年3月17日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,725,244
東京海上マネーマザーファンド(評価額)	3,725,244
(B) 負債	4,526
未払信託報酬	4,526
(C) 純資産総額(A-B)	3,720,718
元本	3,695,879
次期繰越損益金	24,839
(D) 受益権総口数	3,695,879口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,067円

(注) 当ファンドの期首元本額は3,695,879円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は0円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金が△表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

(注) 上記表中の1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第11号に規定する計算口数当たりの純資産の額となります。

○損益の状況 (2025年9月18日～2026年3月17日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	9,880
売買益	9,880
(B) 信託報酬等	△ 4,526
(C) 当期損益金(A+B)	5,354
(D) 前期繰越損益金	4,949
(E) 追加信託差損益金	14,536
(配当等相当額)	(143,903)
(売買損益相当額)	(△129,367)
(F) 計(C+D+E)	24,839
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	24,839
追加信託差損益金	14,536
(配当等相当額)	(143,903)
(売買損益相当額)	(△129,367)
分配準備積立金	18,970
繰越損益金	△ 8,667

(注) (A)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B)信託報酬等は、消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E)追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分です。

(注) 分配金の計算過程は以下の通りです。

項 目	当 期
a. 配当等収益(費用控除後)	1,112円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	0円
c. 信託約款に規定する収益調整金	143,903円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	17,858円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	162,873円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	440円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1万口当たり)	0円

○ (参考情報) 親投資信託の組入資産の明細

(2026年3月17日現在)

<東京海上マネーマザーファンド>

下記は、東京海上マネーマザーファンド全体(7,822千口)の内容です。

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	7,000 (7,000)	6,995 (6,995)	87.8 (87.8)	— (—)	— (—)	— (—)	87.8 (87.8)
合 計	7,000 (7,000)	6,995 (6,995)	87.8 (87.8)	— (—)	— (—)	— (—)	87.8 (87.8)

(注) ()内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、このファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	%	千円	千円		
第1342回国庫短期証券	—	3,000	2,996	2026/5/11	
第1353回国庫短期証券	—	4,000	3,998	2026/4/6	
合 計		7,000	6,995		

(注) 株式、新株予約権証券および株式の性質を有するオプション証券等の組み入れはありません。

東京海上マネーマザーファンド

運用報告書 第18期 (決算日 2025年8月15日)

(計算期間 2024年8月16日～2025年8月15日)

ここに、法令・諸規則に基づき、当マザーファンド（親投資信託）の直前の計算期間にかかる運用状況をご報告申し上げます。

東京海上アセットマネジメント

原則、各表の数量、金額の単位未満は切り捨て、比率は四捨五入で表記していますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。また、一印は組み入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考	指数		債組入比率	純資産額
	騰落	中率		騰落	中率		
	円	%			%		百万円
14期(2021年8月16日)	10,113	△0.0	100.68	△0.03	68.7	11	
15期(2022年8月15日)	10,118	0.0	100.66	△0.02	71.1	8	
16期(2023年8月15日)	10,119	0.0	100.62	△0.04	69.6	8	
17期(2024年8月15日)	10,122	0.0	100.64	0.02	65.6	9	
18期(2025年8月15日)	10,149	0.3	101.01	0.37	66.2	9	

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考	指数		債組入比率
	騰落	騰落率		騰落	騰落率	
(期首)	円	%			%	%
2024年8月15日	10,122	—	100.64	—	65.6	
8月末	10,123	0.0	100.65	0.01	65.6	
9月末	10,124	0.0	100.67	0.03	65.6	
10月末	10,125	0.0	100.69	0.05	65.6	
11月末	10,126	0.0	100.71	0.07	99.5	
12月末	10,127	0.0	100.73	0.09	66.3	
2025年1月末	10,128	0.1	100.75	0.11	66.3	
2月末	10,131	0.1	100.79	0.15	66.3	
3月末	10,134	0.1	100.83	0.19	66.3	
4月末	10,137	0.1	100.87	0.23	66.3	
5月末	10,140	0.2	100.91	0.26	66.2	
6月末	10,144	0.2	100.95	0.31	66.2	
7月末	10,147	0.2	100.99	0.35	66.2	
(期末)						
2025年8月15日	10,149	0.3	101.01	0.37	66.2	

(注) 騰落率は期首比です。

参考指数は無担保コール翌日物金利です。無担保コール翌日物金利は設定日（2008年3月28日）を100として指数化したものです。

○運用経過

(2024年8月16日～2025年8月15日)

■期中の基準価額等の推移

期首：10,122円

期末：10,149円

騰落率：0.3%

◇基準価額の主な変動要因

プラス要因

・安定した利息収入の獲得

マイナス要因

・保有する債券の評価損など

■投資環境

当期の短期金融市場は、期前半は日銀が政策金利を0.25%程度で維持したことにより、短期金利はおおむね横ばいで推移していましたが、2025年1月の日銀金融政策決定会合で政策金利が0.50%程度へ引き上げられると短期金利は上昇しました。金融緩和の度合いを知る上で着目する日銀の当座預金残高は、514兆円から551兆円程度で推移しており、短期金融市場の資金余剰感が非常に強い地合いが継続しました。

このような状況下、無担保コール翌日物金利は0.23%程度から0.49%程度の間で推移しました。また、3カ月物の短期国債利回りは、0.00%程度から0.46%程度の間で推移しました。

■ポートフォリオについて

元本の安全性と流動性を重視し、国債などを中心とする円建て短期公社債などに投資し、プラスの収益の確保に努めました。その結果、基準価額はおおむね横ばいで推移しました。

○今後の運用方針

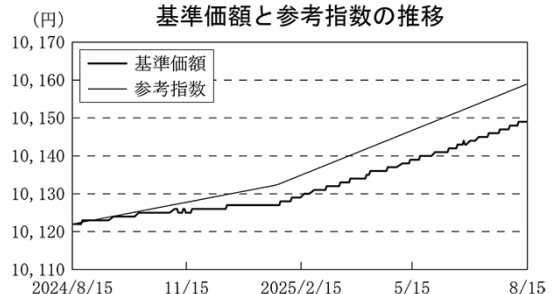
2025年1月に開催された金融政策決定会合で日銀は政策金利を0.50%程度へ引き上げました。今後も追加利上げが見込まれるものの、日銀は慎重にデータを精査していく姿勢を示していることから、国内短期金利の上昇は緩やかにとどまると予想しています。ただし、国内経済・物価の先行きに係る不確実性は高く、将来的な日銀の金融政策運営を巡る動向には留意が必要です。

このような環境下、国債や地方債などを中心とする円建て短期公社債およびコマース・ペーパーを主要投資対象として運用することにより、プラスの収益の確保もしくはマイナス幅を極力最小化するように努める方針です。

○1万口当たりの費用明細

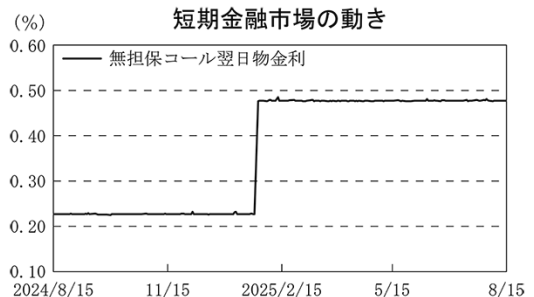
(2024年8月16日～2025年8月15日)

該当事項はございません。



(注) 参考指数は、期首(2024年8月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化したものです。

(注) 参考指数は、無担保コール翌日物金利です。



○売買及び取引の状況

(2024年8月16日～2025年8月15日)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 23,986	千円 — (24,000)

(注) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれていません)

(注) ()内は償還による減少分です。

○利害関係人との取引状況等

(2024年8月16日～2025年8月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年8月15日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期				末			
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
国債証券	千円 6,000 (6,000)	千円 5,998 (5,998)	% 66.2 (66.2)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 66.2 (66.2)	
合 計	6,000 (6,000)	5,998 (5,998)	66.2 (66.2)	— (—)	— (—)	— (—)	66.2 (66.2)	

(注) ()内は、非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 評価については、金融商品取引業者、価格情報会社などよりデータを入手しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘	柄	当 期			末	
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券		%	千円	千円		
第1251回国庫短期証券		—	3,000	2,999	2025/8/20	
第1316回国庫短期証券		—	3,000	2,998	2025/10/6	
合 計			6,000	5,998		

(注) 株式、新株予約権証券および株式の性質を有するオプション証券等の組み入れはありません。

○投資信託財産の構成

(2025年8月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	5,998	66.2
コール・ローン等、その他	3,062	33.8
投資信託財産総額	9,060	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年8月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	9,060,792
コール・ローン等	3,062,433
公社債(評価額)	5,998,320
未収利息	39
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A-B)	9,060,792
元本	8,927,442
次期繰越損益金	133,350
(D) 受益権総口数	8,927,442口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,149円

(注) 当親ファンドの期首元本額は9,029,007円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は101,565円です。

<元本の内訳>

東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型) マネー・プール・ファンド	3,663,907円
東京海上・アジア中小型成長株ファンド	1,100,000円
東京海上・東南アジア株式ファンド	1,100,000円
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型) 円コース(毎月分配型)	991,474円
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型) ブラジル・レアルコース(毎月分配型)	991,474円
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月分配型)	991,474円
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型) 米ドルコース(毎月分配型)	9,915円
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型) ユーロコース(毎月分配型)	9,915円
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型) 資源国通貨バスケットコース(毎月分配型)	9,915円
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型) メキシコ・ペソコース(毎月分配型)	9,898円
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型) トルコ・リラコース(毎月分配型)	9,898円
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド 円コース(年1回決算型)	9,896円
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド 米ドルコース(年1回決算型)	9,896円
東京海上・がんとたたかう投信(為替ヘッジあり)(年1回決算型)	9,890円
東京海上・がんとたたかう投信(為替ヘッジなし)(年1回決算型)	9,890円

(注) 上記表中の次期繰越損益金が△表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

(注) 上記表中の1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第11号に規定する計算口数当たりの純資産の額となります。

○損益の状況

(2024年8月16日～2025年8月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	11,194
受取利息	11,194
(B) 有価証券売買損益	13,086
売買益	13,086
(C) 当期損益金(A+B)	24,280
(D) 前期繰越損益金	110,350
(E) 解約差損益金	△ 1,280
(F) 計(C+D+E)	133,350
次期繰越損益金(F)	133,350

(注) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (E)解約差損益金は、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分です。

○お知らせ

2023年11月に成立した「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正の施行により、従来運用報告書の書面交付義務としていた規定が、電磁的方法を含む情報提供義務と改められることに伴い、2025年4月1日付で所要の約款変更を行いました。